

〈日本社会史特論報告記録〉

二〇〇三年（夏学期・月曜二限）

四月一四日（授業初回）

「日本社会史特論―江戸時代の大名評判記を読む―」

四月二一日

文献紹介

今野 真「『土芥寇讎記』と大名論」（J・F・モリス・白川部達夫・

高野信治編『近世社会と知行制』思文閣出版、一九九九年）。

大森 映子『元禄期の幕政と大名たち』（日本放送出版会、一九九九年）。

四月二八日

班別作業

五月一二日

班別作業

五月一九日

第一班「『土芥寇讎記』における男色・女色・少年愛」

佐藤 宏之「奥平美作守昌章」

小田 真裕「久世出雲守重之」

山口 直孝「小笠原遠江守忠雄」

五月二六日

第二班「『土芥寇讎記』に求められた君主像」

戴 文捷・綱川 歩美・鈴木 圭吾

六月二日

第三班「『土芥寇讎記』研究 表題が意味するもの、作者・編者は？」

小川 和也「牧野駿河守忠郷」

杉 岳志「小笠原修理大夫長胤・小笠原遠江守忠雄」

藤井 尚恵「『土芥寇讎記』成立前史―『土芥寇讎記』にみる藩の成立・

その支藩について―」

中瀬 智也「高津薩摩守綱貴」

六月九日

第四班「編者の確定・元禄期における一名君像の特質と諸大名の実

態」

小関悠一郎「編者における『文』・『武』の内容について」

木村 勲「本多一族はどう位置づけられたか―編者特定への問題関

心から読む―」

山田 耕太「真田伊豆守信房」

天野 彩「水野美作守勝慶」

六月一六日

班別作業

六月二三日

第一班「『土芥寇讎記』における男色・女色・少年愛」

佐藤 宏之「二柳兵部少輔直治」

小田 真裕「牧野因幡守富成」

六月三〇日

第二班「『土芥寇讎記』の作者像を探る―大名評価の基準から―」

戴 文捷「『土芥寇讎記』の文武両道について―津軽信政の評価を

通して―」

綱川 歩美「『土芥寇讎記』作者像の模索の試み―その領主評価の基

準から―」

鈴木 圭吾「柳沢出羽守保明」

七月七日

第三班「『土芥寇讎記』研究―謳歌評説の基準は何か―」

小川 和也「周辺図書の比較―『東照宮御遺訓』との関連―」

「『土芥寇讎記』の兵学観」

杉 岳志「謳歌評説で何が非難されるのか」

藤井 尚恵「『土芥寇讎記』成立前史とその作者像に迫る―一考察―

武田家遺臣と井伊家について―」

中瀬 智也「謳歌評説に取り上げられる歴史上の人物について」

七月一四日

第四班『土芥寇讎記』編者が強調する『文武』への関心から思想史的な研究へ」

小関悠一郎『土芥寇讎記』の思想史的研究にむけて」

木村 勲『土芥寇讎記』と水戸光圀及び『大日本史』編集との

接点―將軍・綱吉と“副將軍”光圀との関係を機軸に―」

山田 耕太「引用から何を学ぶか」

天野 彩『土芥寇讎記』における大名評価―浅野綱長の場合―」

(制作担当 佐藤 宏之)